

## 生活保護費返還金・徴収金債権管理業務のBPR支援業務委託評価基準

評価項目		企画提案書記載内容等	評価ポイント	配点
1	基本方針	本業務委託に対する姿勢や考え方	①本業務委託の趣旨・目的を適切に理解・把握し、本業務委託に対する姿勢や考え方が明確かつ適切に示されているか。	5点
2	企画提案の内容	仕様書(案)「5 業務内容」について、以下の内容が明らかになっていること。  ・委託目的を踏まえた、本業務委託のゴール※イメージ ・ゴール達成への道筋と工程定義 ・各工程の方針、実施手法、成果物イメージ ※委託終了時に本市が得られる成果、あるいは状態	①本業務委託のゴールイメージは委託目的を踏まえたものであり、本市の考えに近いものか。また、ゴール達成までの道筋や各工程内容は具体的に・現実的であり、分かりやすく示されているか。 ②業務実態調査は詳細な実態把握が可能であることが期待でき、その結果を踏まえた可視化分析・課題整理の結果が、客観的にわかりやすい形式となることが示されているか。 ③再構築案は、論理的かつ根拠に基づいた形で導かれることが期待できかつ、客観的にわかりやすい形でまとめられることが示されているか。 ④再構築案の決定、実行計画立案等の検討に当たっての協議のあり方は、提案者や特定の担当課の一方的な意見に偏らず、全関係者の意見が集約された案となることが期待できるものとなっているか。 ⑤工程成果物について、本市担当課が各種意思決定を行うのに必要十分な判断材料になることが期待できるか。 ⑥最終成果物について、担当課職員が次年度以降も改善活動を継続でき、ゴール達成ができるよう配慮された内容となることが期待できるか。	50点
3	業務実施スケジュール等	・本業務委託を実施するための全体スケジュール ・提案者と担当課の打ち合わせや資料確認作業等、コミュニケーションの取り方	①全体スケジュールは、提案者が示した提案内容を実現可能と判断できる現実的なスケジュールとなっているか。 ②打ち合わせのサイクルや頻度、それに付随する本市作業内容が具体的に示され、その内容は提案内容の実現に過不足ない内容と考えられるか。また、本市担当課の負担等にも配慮されているか。	10点
4	業務実施体制	本業務委託を実施するための人員、体制(個人名、写真は不要)	①本業務委託を実施するための人員、体制は十分か。 ②主担当者及び補助者の経歴・実績は十分にあるか。	10点

5	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務委託に活かせる業務の受託実績（受託時期、内容、受託金額）</li> <li>※以下の例に類似するもの</li> <li>①生活保護業務関連のコンサル実績</li> <li>②債権管理関連のコンサル実績</li> <li>③BPR実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①類似業務についての実績は十分にあるか。</li> <li>②令和元年以降の受託実績があるか。</li> <li>③提案者のベストプラクティスは本市の課題解決に寄与することが期待できるか。</li> </ul>	15点
6	見積価格	<p>※見積価格の得点化については、以下の式による。  得点 = [配点] × (最低見積価格 ÷ 当該見積価格)  ただし、小数点以下の端数が出る場合、小数点第1位まで算出する。(小数点第2位を四捨五入)</p>		10点
合計				100点

<評価項目に対する点数> 提案項目は、「評価ポイント」の視点から5段階の評価を行う。

評価区分	配点が 5点のもの	配点が 10点のもの	配点が 15点のもの	配点が 50点のもの
要件を満たしており、本市の期待を著しく上回る提案である。	5点	10点	15点	50点
要件を満たしており、本市の期待を上回る提案である。	4点	8点	12点	40点
要件を満たしており、本市の期待するレベルの提案である。	3点	6点	9点	30点
本市の期待を下回る提案である。	2点	4点	6点	20点
本市の期待を著しく下回る提案である。	1点	2点	3点	10点

※記載なしの項目は0点とする。

#### 【特定手順】

- ・評価基準により各企画提案の評価点（企画競争審査委員1名あたり持ち点100点満点）を出し、合計により最適な提案者及び次順位の提案者を特定する。ただし、最適な提案者の合計点が満点の6割に満たない場合は、協議の結果、全件不採択とすることができる。
- ・採点の結果、合計点が同点の場合は評価基準中の評価項目「2 企画提案の内容」の評価点の高い方の提案者を最適な提案者として特定する。「2 企画提案の内容」の評価点も同点の場合は、協議により特定する。